4月度例会のご案内

2006年3月の就任から2年が経過した 今、町田市長のローカルマニフェストの 進捗状況や達成度を客観的な視点から評 価・検証し、市長自ら2010年3月の任期 満了までの2年間の施政方針について建 設的かつ発展的にお考え頂く事でより良 い市政の実現とマニフェストサイクルの 確立を目指します。

5月・6月度例会のご案内

5月の例会案内を4月3日以降、6月の例会案内を5月1日以降に社団法人町田青年会議所ウェブサイトより発信させて頂きます。

●社団法人町田青年会議所ウェブサイト http://www.machida-jc.com/ こちらにアクセス!理事長ブログも日々更新中!!

《賛助会員一覧》

有限会社PAM・J ホテル ザ・エルシィ町田株式会社小田急トラベル町田販売センター富士ゼロックス多摩株式会社NPO法人アスレチッククラブ町田株式会社ジェイコム関東せたまち局株式会社CASCAVEL FUTSAL CLUBE

新入会員募集

(社) 町田青年会議所では現在会員を募集しております。町田市及びその周辺地域に住所または勤務 先を有する20歳から40歳までのまちづくりや奉仕活動、自己の修練に興味ある青年であれば、男 女を問わず入会の資格があります。詳細は事務局へお電話もしくはメールにてお問い合わせください。

(社)町田青年会議所 TEL: 042(725)7565 E-mail: machidajc@msh.biglobe.ne.jp

www.machida-jc.com

MACHIDA JC Press

2008年度 町田JCスローガン

今こそ活かせ!青年の力 時代に求められる JAYCEE たれ!

2008年(平成20年)4月号



Junior Chamber International Machida Worldwide Federation of Young Leaders and Entrepreneurs

社団法人町田青年会議所(町田JC)は、 我々の郷土、町田市の将来のあるべき姿を 真剣に考え、その理想像に向かって邁進し ます。次代の担い手としての責任を自覚す る青年(20歳~40歳)が集い社会発展のた めに運動を繰り広げております。

移り変わりの時です。実際の交付は1

月6日でした。思え返せば私が理事長

― 設立趣意書より抜粋

理

讨談

~公益社団法人格の取得を 見据え、 「社団格」の取得を振り返る



社団法人町田青年会議所 第 21 代理事長 小林進先輩

●現在の社団法人町田青年会議所が「社団格」を取得した時、メンバーの中心となって活動された。税理士法人フォース理事長。

なぜ当時の町田青年会議所は 「社団格」を取得したのか?

寺田 それでは小林進先輩本日は宜しくお願い致します。本日小林進先輩にお越しいただいたのは1988年度と表表がしてその時社団法人であるれたという経緯がございま日とは近まりまして我々社団法人町はよりまして我々社団法人町に会議所もこれから5年間のういは社団になるかでもうと言う様な選択をもあるようですけど現状我々考えてお



社団法人町田青年会議所 第 41 代理事長

寺田 雄久

りますのは公益社団法人格の取得にむけて動いていきたいと考えております。まず初めに1988年理事長を務められた当時、社団法人格をとられた経緯や、また1年だけではとても取れなかっただろうと考えておりますのがいつごろからご準備をなされたかをお話いただければと思っております。

小林先輩 まずは久しぶりに事務局に 来させて頂き、また若い皆さんと会談 できる事を楽しみにしておりました。 随分前の事になってしまいますので記 憶を辿りながら社団法人格を取った経 緯意等々お話したいと思います。まず 取得したのは昭和63年、昭和と平成の

になった時、JCの内部的にも外部的 にも社団法人格取得の機運がありまし た。内部的には数年前から法人格取得 に向け何人かが都庁にお邪魔し設立に 向け動き出しておりました。そのため すでに社団法人格を取得しているJC と交流をし必要なノウハウを収集して いました。その結果、難しいだろうと いう意見が多かったのですが、私が理 事長の時、一気に法人格を取得しよう ではないかと動き出しました。その当 時に粉骨砕身し、働いてくれたのが担 当委員長であるは渋谷俊徳君でした。 しかし、その時の条件としては会員数 が100名以上、予算規模が1,000万円以 上とハードルはかなり高いものでした。 会員は70~80名を推移していましたの で30名以上の拡大をしなければならな かったのです。最終的には三ノ輪利郎 君に拡大委員長をしてもらい拡大に成 功し100名を超え、予算規模も1,000万 を超え、これでいけるという自信を持 ちました。あとは手続き的なものだけ です。これは足を棒にして都庁に何度 でもお願いに行く事だけでした。外部 では日野JCが取得に向け先行してい ましたが、日野JCよりも町田JCの 方が設立が早い、先輩JCとしては先 行もしくは同時という気持ちが強くあ りました。そういった事で内部的な要 因と外部的な要因がうまく合致したの が一番大きかったと思います。それと 外的要因で忘れてはならないのは独立 した事務局を持たねばならないという 事です。当時はJCとローターリーク ラブで八千代信用金庫の一角に事務所 をお借りしていましたが、これではま ずいというとで適切な場所を探さなけ ればならない状況でした。そこで三ノ 輪君が建てたという縁もあり現在の場 所に事務局を構える事になりました。 さすがJCです。先輩方が駆け付け、 事務局で必要なもの全てを寄付して頂 けました。お陰でた大したお金も掛け ずにこの事務局を構えることができま

www.machida-jc.com

寺田 確か前年度高橋不二夫先輩が総 務委員長をやられた時にかなり定款の 変更をされたりして準備をされていた ようにお聞きしましたが、小林先輩の 話では機運が盛り上がってはいなかっ たように感じましたが、社団格取得は 必要無いというムードだったのでしょ うか?

小林先輩 というよりは実際に都庁へ 行って大変厳しい感触を受けたのです。 担当官にはJCはどこを切っても金太 郎飴だと、何か特徴を出さないと東京 都としても社団格を持たせる意味が無 いと強く言われました。しかしそれに 怯むことなく動けたのは、JC運動を社 会に認知させるには社団法人格を取る のが非常に効果的と思っていたからで す。会員拡大についても 100 名にする 事で社団法人格を取得する事ができる という具体的な目標ができました。

寺田 我々は入会当初から社団法人町 田青年会議所と名前がついている団体 に入会させて頂いているのでその価値 を中々感じる機会が少ないのですが、 市役所とか教育委員会に行くと私ども 社団法人町田青年会議所への対応は明 らかに他団体とは異なるものと感じま す。これは任意団体では無く公益団体 であるからかと思います。

小林先輩 だから公益法人の責任とは 会計の透明性です。誰から見られても どうぞと見せられるくらいにすること です。

寺田 もう一つお伺いしたいのはその 当時町田青年会議所メンバー80名くら いだったと思うのですが、総会を開催 するに至るまでのメンバーへの説明と 社団法人格を取得するための機運の高 め方で何かありましたらアドバイスを それは何故か?真剣に考えることが大 頂けますか?

小林先輩 やはり社団法人格を取得す るという事に反対な意見も確かにあり ましたが、根気良く状況報告などをメ ンバーにしていき、最終的には全メン バーが賛成してくれる事になりました。

寺田 私どもも公益法人法改定に向け 理解を深めようと2月に勉強会を開き ましたがこれからも報告会、勉強会を 行いメンバーの意識を高めていくこと が大切なのかと改めて感じさせて頂き えする事が出来るのではないかと考え ました。

公益社団格の取得に向けて

小林先輩 やっぱり公益社団法人格狙 うんでしょ?



寺田 もちろん狙いたいですね。

小林先輩 もし町田青年会議所が狙う のであれば1番を狙って欲しいですね。

寺田 公益社団格を取得するにあたっ て認定条件は様々にあると思いますが 一番の問題は事業費と管理費の問題だ と思っております。町田青年会議所の 場合、ここ数年事業費を 50%以上に上 げていこうと計画しておりますし、そ のようになってきていると思うのです が、主務官庁がどのように判断するの かは分かりません。私個人の考え方で はJCのメンバーが個人的に研修する ような事業であっても、その受けた研 修のスキルを発揮するのは地域や街づ くりに対してなので公益に値するので はないかと思っております。また、同 志との運動を大きく展開して行くため に東京ブロックや日本JCへの付加金 を支払っていますが、どちらも社団法 人格を取得しているのですから事業費 に値するのでは?と思っております。

小林先輩 そういう事を考えると今町 田青年会議所が行っている事業が公益 法人として認められるのかをメンバー が考える機会になるのだと思います。 もし仮に公益性に欠けるとするならば、 切なのです。それと、私たちが社団法 人格を取得した時と今とでの大きな違 いはNPOの存在だと思います。

そうですね。たとえば教育につ いてのNPOは専門的に特化してかな り掘り下げたことを行っていますね。 しかし我々青年会議所は教育だけに留 まらず、たとえば政治や経済などと関 連性を持たせて事業を行っています。 そのあたりをうまく発信できれば青年 会議所の存在意義を市民の方々にお伝 ております。

小林先輩 団塊の世代がどんどん現役 を引退し、ボランティアやNPOといっ た団体に入っていき力を付けますね。 そんな中、JCがどうやって活動してい くのか本当に難しくなっていきますね。

寺田 私が思っているのはやはりJC は特定のものに特化せず、視野を広げ て幅広く行動できる団体にすべきだと 思います。そしてJCは 20~ 40 歳迄 という年齢制限があるのが最大の魅力 です。何故ならば、社会への先入観や しがらみの無い私達青年が純粋に地域、 国家を想い失敗を恐れずに行動し、そ こから学ぶ事ができる団体だからです。 町田も今年で41年目を迎え、先輩たち から受け継いだ事業もたくさんありま す。毎年毎年、担当委員長も変わるか らこそ新しい発想が生まれてくるのだ と思います。

小林先輩 それと行政とどう向き合い どう協力を得るかが大事でしょう。今 は議会の方がメンバーに随分いるみた いだけど私達の頃はメンバーにいな かったからね。何をやるにも「さて、 どうするか?」から始まったものでし

寺田 昨年は町田市と共催で「市民討 議会」を開催させて頂きました。各方 面より評価を頂きまして、本年も継続 して開催する予定となっており、そん な意味でも連携が出来ていると感じて

小林先輩 私は卒業して十数年経って しまいましたが、今では先輩の厚みが 全然違います。その先輩方の専門分野 において力を借りていくと思わぬ発想 やアドバイスがもらえると思いますよ。 是非町田青年会議所には東京都内で公 益法人取得第1号を目指して欲しいと 思います。二番では話題にものぼらな いが、一番であれば歴史にも残ります。

寺田 本日は小林進先輩から社団法人 取得当時の時代背景、また当時の近隣 の青年会議所、そして当時の町田青年 会議所のお話を頂きました。今年は公 益法人制度改革の年でもあり、私たち 町田青年会議所もその取得に向けもっ ともっと勉強を積んで第1号に申請で きるように行動していきたいと思いま す。その際に不明な点が出てくるかも 知れません。その時は小林進先輩を始 め先輩諸兄に色々とアドバイスを頂け ればと思います。本日はどうもありが とうございました。



2月度例会報告

『経営革新』



2月度例会では「経営革新」(経営のプロが語る組 織の活用法)をテーマといたしまして、大木ヒロシ 氏を講師にお招きし例会を開催しました。今回の講 師は全国で年間 200 回講演をされている方で、語り 口調は非常に熱く聴く者をひき付け飽きさせない内 容の講演となりました。

講師自身の経験を交えたアパレル業界の話を例と して挙げたり、講演先が様々な業界・業種という事 もあって広い知識を生かした具体例が多く理解しや すかった印象を受けました。

現在生産者は原材料の高騰にも関わらず価格に転 嫁することもできない状況であり、消費者や材料供 給者のどちらからも弱い立場にあり非常に複雑な状 況である話や、会社の長期目標を掲げそれは途中で 変えてはならないものである。その目標に向かって 世の中の状況や自分の置かれている環境を分析した うえで手段・手法を変えていき、変わる事のない目 標に向けて進んでいくことが必要と講演で語ってお られました。

また自分が成功して初めて地域貢献等を行なえる 立場になれるのだということを話されており、そう した成功事例を積み重ねていくことにより自然とメ ンバーは増えてくるものだということも教わりまし た。メンバーや予定者にとりましては実際に経営に 携わる場面も多く、今回の内容はすぐに役立ち、今 後どのような企業が生き残っていけるのかを考えさ せられるきっかけを与えられた講演となりました。

講演後武藤副理事長は 2008 年我々のおかれてい る立場を考えさせられ不況に対する危機感を持ち、 正しく対処する事によって今年を乗り切ればこの先 チャンスが到来し、後に勝ち組として存在できるこ とを学んだと講師に対し謝辞を送りました。

また例会終了後は新入会員入会式を行い、 栗和田 真一君、荻野正志君、小峰健嗣君 3名のメンバー が2月から加わり、それぞれ理事長から各委員会へ の委嘱状や入会承諾書を手渡され、この2月例会の 場で一人ずつ入会後の意気込みなどを語ってもらい ました。

3月度例会報告

『地域に求められる JAYCEE たれ!



今回の3月度例会におきましては講師に2006年度 社団法人日本青年会議所第55代会頭を務められた社 団法人名古屋青年会議所 OB 池田佳隆先輩をお迎え して、ご講演いただきました。例会の趣旨は我々地 域のリーダーたらんとするJAYCEEが地域の為 に、社会の為にどう社会変革運動を進めるべきか、 またその為の心構えや持つべきビジョンについてお 話を頂き、今後の社会変革運動に対してのモチベー ションを向上を図りました。講演では、池田先輩に 大変有意義な講演を頂きました。まず現代の社会背 景や数字のデータから話が始まり、そこからなぜ 我々JAYCEEに「学び」が必要かを紐解いてい ただきました。JCは社会変革運動に対し志をもっ ていてしかるべき。だから寝ないでも勉強しなさい とのことでした。また、本年度の寺田理事長の所信 からの引用を随所に入れて頂いたので我々町田JC メンバーにとっても大変実感できる講演内容でし た。今回の3月度例会で池田先輩に講演頂いたこと をしっかりと社会変革運動に活かすことが我々の強 く意識しなければいけないことですし、町田JCと して今後の運動に対しモチベーションが上がった例 会になったと思います。



www.machida-jc.com

www.machida-jc.com